

授業科目名： 国際地域学研究基礎		担当教員名： 黒田俊郎、中東友幸、ミラー枝里香	
選択必修： 必修	単位数： 2	セメスター： 1 前 1 Spring	開講言語： 日本語

ディプロマポリシーとの関連：

国際社会の知識	政策分析能力	英語コミュニケーション能力
●	●	

○授業の到達目標及びテーマ

国際地域学で取り扱う領域を国際関係、紛争解決、外交史、地域研究の4つの側面から三部構成で検討し、受講生に国際地域学の概要を把握してもらう。

○授業の概要

- 1) 第1部：国際関係（5回：黒田俊郎）
- 2) 第2部：紛争解決（5回：中東友幸）
- 3) 第3部：外交史・地域研究（5回：ミラー枝里香）

○授業の方法

（第1部及び第2部：1-10回）

- 1) 受講生は指定された文献を読み、また授業での討議に積極的に参加することが求められる。
- 2) 受講生には課題レポート2編(1-5回／6-10回)の作成が求められる。詳細は授業時に指示する。

（第3部：11-15回）

- ミラー担当回では、外交史および地域研究の知識を構築するとともに、質の良いレポートを書くスキルを獲得することを目的とする。
- 第10回までにアンケートを行い、選択肢から外交史・地域研究に関するトピックを2つ選択してもらう。選択肢は下記「授業計画」に記載している。講師は11回までにアンケートを集計し、第11回、第12回にて多数決で選択されたトピックに関して講義を行う。第13回では、講義に基づきディスカッションを行う。それらにより外交史および地域研究に関する知識を構築する。
- 第14回までに、学生はレポートの骨子を用意する。第14・15回でレポートの書き方を細かに指導する。

○授業計画

【第1-5回】（黒田俊郎）

前田幸男『「人新世」の惑星政治学：ヒトだけを見れば済む時代の終焉』（青土社、2023年）をテキストとして使用する。

第1回

受講生が、第1回授業までに上記テキストを入手し、序章を精読、第1部及び第2部所収の諸章[第1部4章、第2部5章で構成]の内容を確認してくることを前提に、テキストの基本的論点を共有し、第2-5回で検討するテーマを決定する。

第2回

選択したテーマについてテキストの内容の確認と討論①

第3回

選択したテーマについてテキストの内容の確認と討論②

第4回

選択したテーマについてテキストの内容の確認と討論③

第5回

選択したテーマについてテキストの内容の確認と討論④

【第6-10回】（中東友幸）

上杉勇司・長谷川晋『紛争解決学入門：理論と実践をつなぐ分析視角と思考法』（大学教育出版、2016年）をテキストとして使用する。

第6回

講義：紛争解決とは？

第7回

講義とディスカッション：平和とは？

第8回

講義とディスカッション：安全保障とは？

第9回

講義とディスカッション：紛争とは？

第10回

まとめとディスカッション：6回から9回の授業を踏まえ、紛争解決学の可能性と限界について議論する。

【第11-15回】（ミラー枝里香）

講義の選択肢

- (1) 冷戦の起源
- (2) 代理戦争
- (3) 第三世界におけるナショナリズムの台頭
- (4) キューバ危機と米ソ対立の限界
- (5) デタント
- (6) 石油危機と中東戦争
- (7) 冷戦の崩壊
- (8) 湾岸戦争と冷戦後新国際秩序
- (9) テロとの戦争とイラク戦争
- (10) ロシア・ウクライナ戦争

第11回

講義

第12回

講義

第13回

ディスカッション

第 14 回

レポート指導

第 15 回

レポート指導

○テキスト

各週に提示（授業計画を参照）

○参考書・参考資料等

各週に提示（授業計画を参照）

○学生に対する評価

1) クラス討論への貢献: 30%

2) 課題レポート（日本語）: 70%

○警戒レベル 3 以上の場合の授業形態について

授業形態 : オンライン授業（リアルタイム配信型）

資料・連絡事項掲載場所 : 担当教員に確認